Wireless LAN PCI-ADP
<Windows 95/Windows 2000 編>

取扱説明書

このマニュアルでは、本製品のWindows 2000 または Windows 95(Version B以上）へのインストール方法およびアンインストール方法を説明します。
本製品の特長、Windows 98 または Windows Me へのインストール、トラブルシューティング、製品仕様、保証と修理、ユーザーサポート等についての詳しい説明につきましては、本製品に付属の『corega Wireless LAN PCI-ADP <<Windows 98/Windows Me 編 >> 取扱説明書』 をご覧ください。

http://www.corega.co.jp

PN J613-M2626-02 Rev.A 001130

安全のために

警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

雷のときは
さわらない

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

設置場所
注意

注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり、周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。

高温注意

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り付け・取り外しのときの注意

コンピューターのPCI バススロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本取扱説明書及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。

長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋（静電防止）に入れてください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな

中性洗剤使用

堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

はじめに

この度は、「corega Wireless LAN PCI-ADP 」 無線LAN PCカード用 PCI バスアダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルでは、本製品の Windows 2000 またはWindows 95(Version B 以上)へのインストールおよびアンインストール方法を説明します。
本製品の特長、Windows 98 または Windows Me へのインストール、トラブルシューティング、製品仕様、保証と修理、ユーザーサポート等についての詳しい説明につきましては、本製品に付属の『corega Wireless LAN PCI-ADP <<Windows 98/Windows Me 編>> 取扱説明書』をご覧ください。

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピューター機種として「AT 互換機 /PC98-NX シリーズ」を想定しています。「AT 互換機 /PC98-NX シリーズ」では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピューターでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピューターにおけるものと読み替えてください。

・「フロッピーディスクドライブ」として「A:」

・「起動ドライブ(ハードディスク)」として「C:」

・「CD-ROM ドライブ」として「D:」

表記上の注意

Windows95 には、いくつかのバージョンが存在します。本マニュアルでは、次の意味で使用しています。
また、本製品は、Windows 95 Version B以上をサポート対象 OSとさせていただいております。

・Version B　Windows95 Ver.4.00.950 B
　このバージョンは「Version B」「OSR2(= OEM Service Release 2)」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書では "Version B" に統一します。

ご使用になる無線 LAN PC カードについて

本製品に、無線 LAN PC カードを装着して利用する際に、いくつかの電波に関する注意があります。詳しくはご使用になる無線 LAN PC カード製品に付属の取扱説明書を参照してください。
また設置の前に、本書の「安全のために」を必ずお読みください。
本製品に装着する無線LAN PCカードは、弊社動作確認済みの PC カードをご使用ください。

■　動作確認済み PC カード

・ corega Wireless LAN PCC-11

また、その他の PCカード情報につきましては弊社ホームページをご覧ください。

本製品に corega Wireless LAN PCC-11 を装着した際のドライバーのインストール方法や、無線 LAN の設定方法については、無線 LAN カードに付属の取扱説明書を参照してください。

目次

1 Windows 95 へのインストール

注意

本製品は、Windows 95 Version B 以上が対応 OS となります。
本書においては、Windows 95 Version B を「Windows 95」と省略して表記しています。

本製品を Windows 95 にインストールする手順について説明します。インストールは、次の 4 ステップで行います。
※ 本製品をコンピューターに取り付ける順番にご注意ください。

(1) 「PCI PC Card Drive Setup」のインストール（本製品に付属のフロッピーディスクを使用）

注意

この段階では、本製品はまだコンピューターへは取り付けません。

(2) 本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

(3) PC カードの装着
詳しくは、「3 PC カードの取り付けおよび取り外し」(p.18) を参照してください。

(4) PC カード用ドライバーのインストール
ご使用になる PC カードに付属の取扱説明書に従って、インストールを行ってください。

corega Wireless LAN PCC-11 をご使用の場合、corega Wireless LAN PCC-11 に付属の取扱説明書の「2. インストール」を参照してください。Windows 98/Windows 95 Version B 以外のお客様は、付属の Windows 2000/Windows Me 対応用のリリースノートをご覧ください。
ご購入時に Windows 2000/Windows Me に対応されていなかった製品をご使用の方は、弊社ホームページより最新ドライバー（Windows 2000/Windows Me）および Windows 2000/Windows Me 対応用のリリースノートをダウンロードしてください。

■用意するもの

- PCI-ADP 本体
- 本製品に付属のフロッピーディスク
- Windows 95 の CD-ROM

注意

Windows 95 が、コンピューター購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピューターのマニュアルをご覧になるか、コンピューターメーカーにご確認ください。

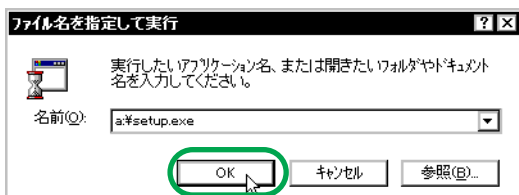
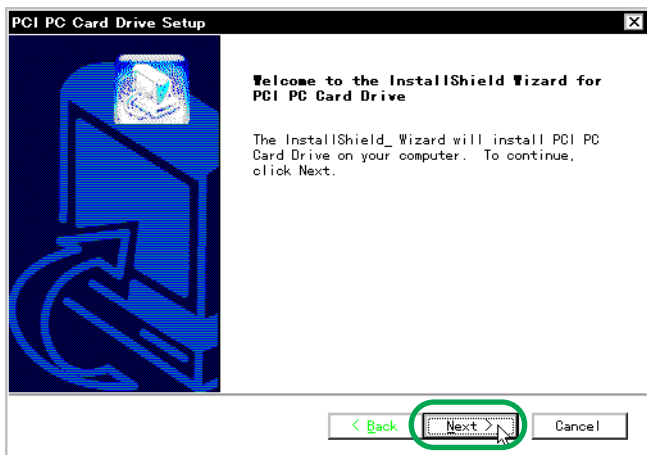
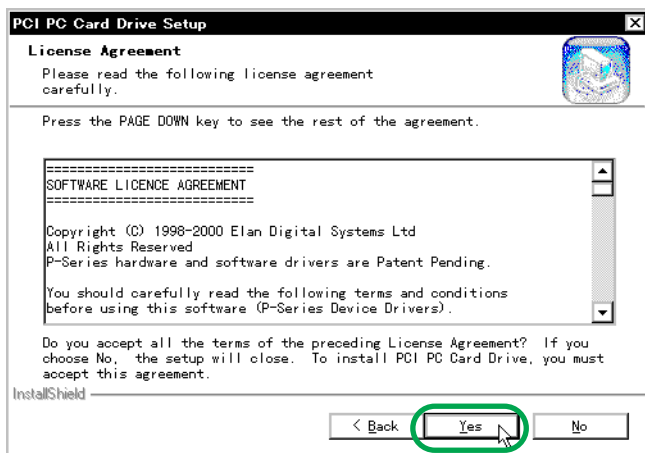
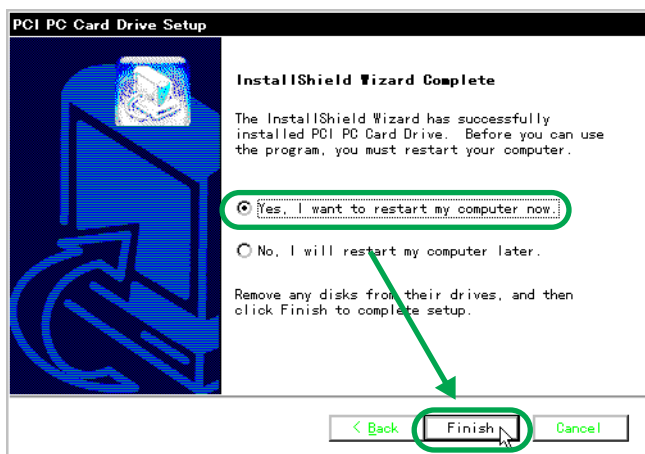
ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1.1 PCI PC Card Drive Setupのインストール

(1) コンピューターの電源を入れ、Windows 95を起動します。

(2) コンピューターのフロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを挿入します。

このとき、PCI-ADPは、まだ装着しないでください。

(3) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に「A:¥setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

(4)　セットアッププログラムのインストーラが起動したら、「Next」ボタンをクリックします。

(5) 「Software License Agreement」(ソフトウェア使用許諾契約) をよくお読みになり、同意の上、「Yes」ボタンをクリックします。

(6) セットアップが完了したら、コンピューターの再起動が要求されますので、「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「Finish」ボタンをクリックします。

(7)　（この後、PCI-ADP の取り付けを行うため、コンピューターを一度、終了します。）
コンピューターが再起動したら、「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックします。
「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

1.2 PCI-ADP の取り付けおよびドライバーのインストール

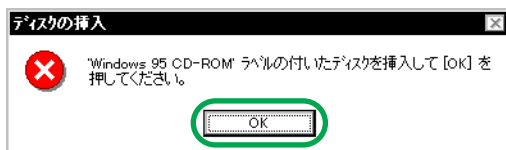
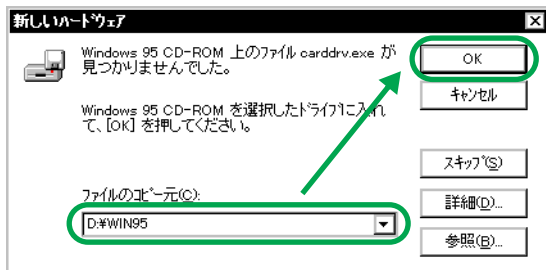
本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

(1)　コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

(2)　本製品を PCI バススロットに取り付けます。PCI バススロットへの取り付け方法については、ご使用になっているコンピューターの取扱説明書を参照してください。

このとき、PC カードは、まだ装着しないでください。

(3)　コンピューターの電源を入れ、Windows 95 を起動します。

(4)　次のメッセージが表示されたら、Windows 95 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします。

(5) 「ファイルのコピー元」に、「D:¥WIN95」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です）。

Windows 95 がプレインストール版の場合は、「ファイルのコピー元」で「c:¥windows¥options¥cabs」を入力してください。

コンピューターの機種によっては、必要なファイルが「¥windows¥options¥cabs」に存在しないことがあります。その場合は、コンピューターのマニュアルをご覧になるか、ご使用のコンピューターメーカにお問い合わせください。

コンピューターの機種や環境によっては、**「PC カード（PCMCIA）ウィザード」**が起動する場合があります。「PC カード (PCMCIA) ウィザード」では、2 つの質問が表示されます。どちらも「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックし、**「PC カード（PCMCIA）ウィザード」を終了し**ます。

(6) 自動的にドライバーがインストールされ、処理が終了します。ただし、OS　からのインストール完了のメッセージは表示されません。

(7) （この後、コンピューターを再起動し、ドライバーが正しくインストールされたかどうかを確認します。）
「スタート」ボタンから「Windows の終了」をクリックします。
「コンピュータを再起動する」を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

1.3 PCI-ADP ドライバーの確認

ドライバーのインストールが終了したら、次の手順に従って、正しくインストールされているかを確認します。

(1) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

(2) 「PCMCIA」をダブルクリックし、その下に「Ricoh R5C475II PCI to CardBus Bridge 」が表示され、「！」マークや「×」マークがついていないことを確認します。

「!」マークや「×」マークが付いている場合は、ドライバーが正しくインストールされていません。本製品に付属の取扱説明書（『corega Wireless LAN PCI-ADP <<Windows 98/Windows Me 編>> 取扱説明書』）の「5 トラブルシューティング」を参照し、問題を解決してください。

(3) 確認が完了したら、「3 PCカードの取り付けおよび取り外し」（p.18）を参考に、PC カードを PCI-ADP に取り付けてください。

PCI-ADP に装着する PC カードは、ホットスワップ（活線挿抜）機能に対応しています。
コンピューターの電源を入れたままで、PC カードの取り付けおよび取り外しを行うことができます。
PC カードをご使用のコンピューターで初めて使用する場合、OS が自動的に PC カードを検出し、ドライバーのインストールを行います。PC カード用ドライバーのインストールについては、ご使用になる PC カードに付属の取扱説明書を参照してください。

2 Windows 2000 へのインストール

本製品を Windows 2000 にインストールする手順について説明します。 インストールは、次の 4 ステップで行います。
※ 本製品をコンピューターに取り付ける順番にご注意ください。

（1）「PCI PC Card Drive Setup」のインストール（本製品に付属のフロッピーディスクを使用）

この段階では、本製品はまだコンピューターへは取り付けません。

（2） 本製品のコンピューターへの取り付けおよびドライバーのインストール

（3） PC カードの装着

「3 PC カードの取り付けおよび取り外し」（p.18）を参照し、PC カードを取り付けます。

（4） PC カード用ドライバーのインストール
ご使用になる PC カードに付属の取扱説明書に従って、インストールを行ってください。

corega Wireless LAN PCC-11をご使用の場合、付属の Windows 2000/Windows Me 対応用のリリースノートをご覧ください。
ご購入時に Windows 2000/Windows Me に対応されていなかった製品をご使用の方は、弊社ホームページより最新ドライバー（Windows 2000/Windows Me）および Windows 2000/Windows Me 対応用のリリースノートをダウンロードしてください。

■用意するもの

・ PCI-ADP 本体

・ 本製品に付属のフロッピーディスク

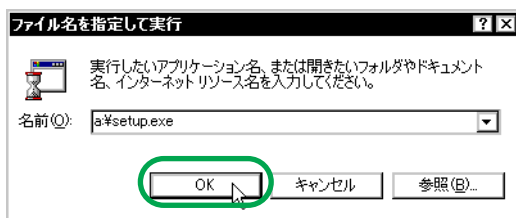
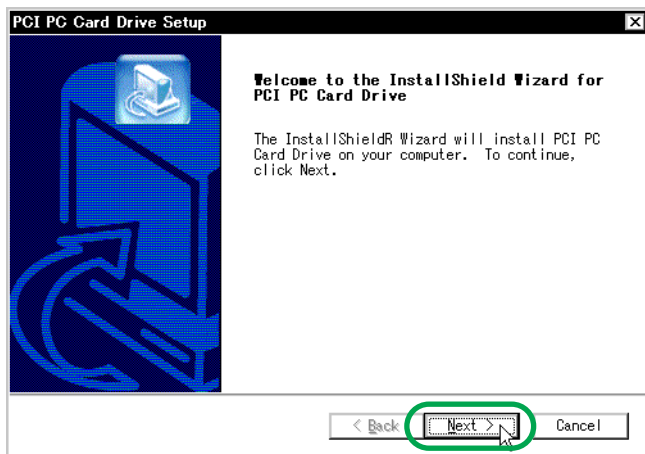
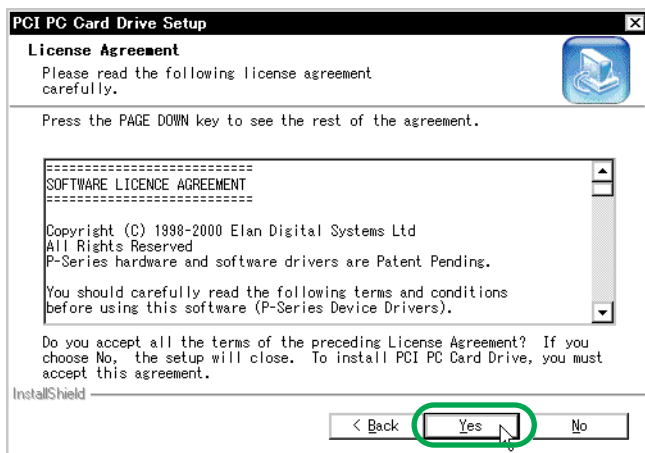
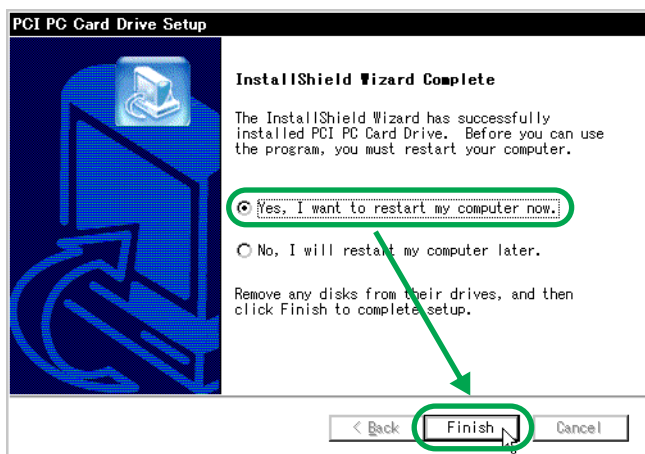
ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。 特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.1 PCI PC Card Drive Setup のインストール

(1) コンピューターの電源を入れ、Windows 2000を起動します。

(2) コンピューターのフロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを挿入します。

このとき、PCI-ADP は、まだ装着しないでください。

(3) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に「A:¥setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

(4) セットアッププログラムのインストーラが起動したら、「Next」ボタンをクリックします。

(5)「Software License Agreement」（ソフトウェア使用許諾契約）をよくお読みになり、同意の上、「Yes」ボタンをクリックします。

(6) セットアップが完了したら、コンピューターの再起動が要求されますので、「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「Finish」ボタンをクリックします。

（7） （この後、PCI-ADP の取り付けを行うため、コンピューターを一度、終了します。）
コンピューターが再起動したら、「スタート」ボタンから「シャットダウン」をクリックします。
「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2.2 PCI-ADP の取り付けおよびドライバーのインストール

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

（1） コンピューター本体の電源を切り、電源ケーブルを抜いた状態にします。

（2） 本製品を PCI バススロットに取り付けます。PCI バススロットへの取り付け方法については、ご使用になっているコンピューターの取扱説明書を参照してください。

このとき、PC カードは、まだ装着しないでください。

（3） コンピューターの電源を入れ、「Administrator」または「Administrator」の権限を付与されたユーザー名でログインします。「Administrator」についての詳細は、Windows 2000 のマニュアル等を参照してください。

（4） OS が自動的に本製品を検出し、ドライバーがインストールされます。ただし、OS からのインストール完了のメッセージは表示されません。

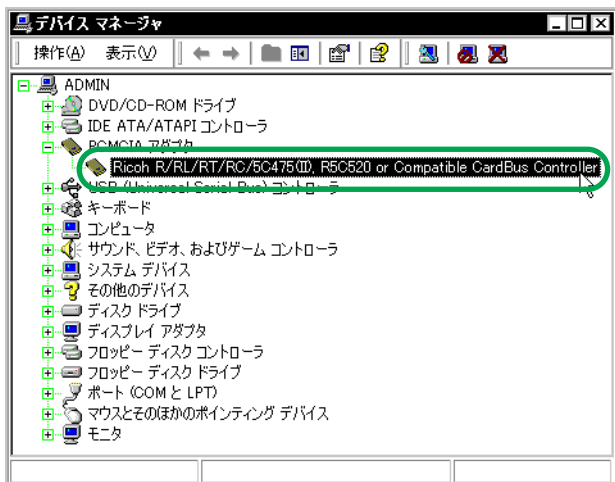
2.3 PCI-ADP ドライバーの確認

ドライバーのインストールが終了したら、次の手順に従って、正しくインストールされているかを確認します。

（1） 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェア」タブをクリックします。

（2） 「デバイスマネージャ」ボタンをクリックし、デバイスマネージャを起動します。

（3） 「PCMCIA アダプタ」をダブルクリックし、その下に「Ricoh R/RL/RT/RC/5C475(II), R5C520 or Conpatible CardBus Controller」が表示され、「？」「！」「×」マークがついていないことを確認します。

「!」マークや「×」マークが付いている場合は、ドライバーが正しくインストールされていません。本製品に付属の取扱説明書（『corega Wireless LAN PCI-ADP <<Windows 98/Windows Me 編>> 取扱説明書』）の「5 トラブルシューティング」を参照し、問題を解決してください。

(4) 確認が完了したら、「3.1 PC カードの取り付け」(p.18) を参考に、PC カードをPCI-ADP に取り付けます。

PCI-ADP に装着する PC カードは、ホットスワップ(活線挿抜)機能に対応しています。
コンピューターの電源を入れたままで、PC カードの取り付け・取り外しを行うことができます。
PC カードをご使用のコンピューターで初めて使用する場合、OS が自動的に PC カードを検出し、ドライバーのインストールを行います。PC カード用ドライバーのインストールについては、ご使用になる PC カードに付属の取扱説明書を参照してください。

3 PC カードの取り付けおよび取り外し

PCI-ADP に PC カードを装着する場合、ホットスワップ機能をサポートしています。したがって、コンピューターの電源を入れた状態で、PC カードの取り付けおよび取り外しが可能です。
ただし、コンピューターの電源が入っている状態で PC カードを取り外す場合は、必ず「3.2 PC カードの取り外し」（p.19）で説明されている手順で行ってください。

指定された手順を守らなかった場合、コンピューターのハングアップや、Windows ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、指定された手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

3.1 PC カードの取り付け

PC カードを挿入する際は、PC カードスロット横の注意書きに従って、正しい向きに挿入してください。間違った向きでは、正しく挿入できません。無理に挿入しようとすると、PCI-ADP およびＰＣカードを破損する恐れがありますので、絶対におやめください。

PC カードを取り付けたままの状態で、本製品（PCI-ADP）を取り付けることはおやめください。Windows 95 をご使用の場合は「1 Windows 95 へのインストール」（p.6）を、Windows 2000 をご使用の場合は「2 Windows 2000 へのインストール」（p.13）を参照し、正しい手順でインストールを行ってください。

警告ラベルを良くお読みになり、PC カードの表面が、必ず指示された向きになるように挿入してください。
誤った向きでは、正しく挿入できません。無理に挿入しようとすると、PCI-ADP および PC カードの故障の原因となります。

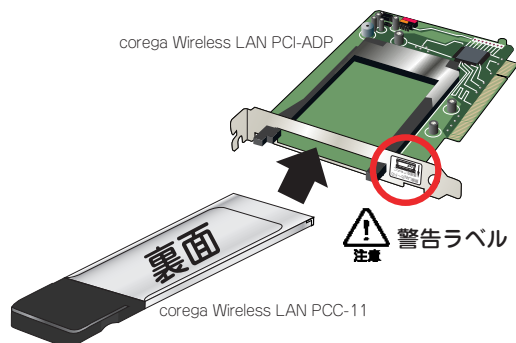



図 3.1.0.1 正しい取り付け方向

3.2 PC カードの取り外し

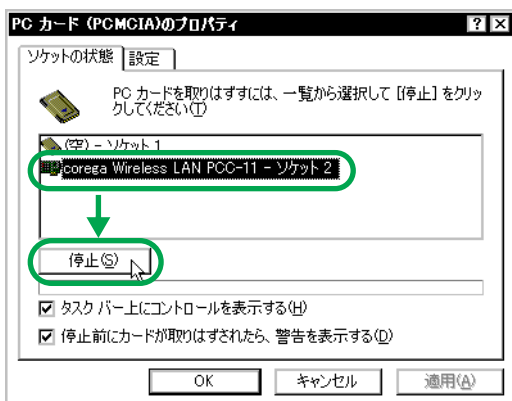
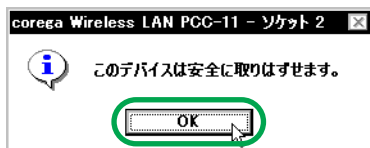
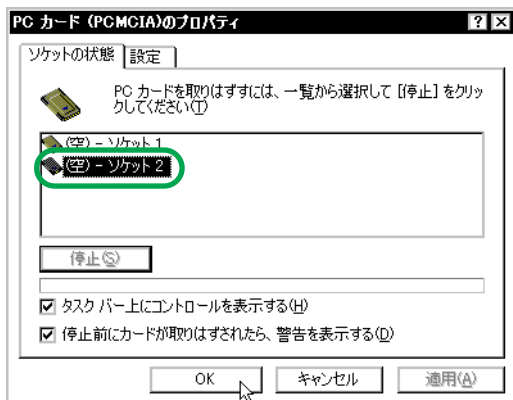
PCI-ADP は、ホットスワップ機能をサポートしています。したがって、コンピューターの電源を入れた状態で、PC カードの取り外しが可能です。
ただし、コンピューターの電源が入っている状態で PC カードを取り外す場合は、必ず、次の手順で行ってください。
また、ご使用になる P C カードに付属の取扱説明書も、参照してください。

手順を守らなかった場合、コンピューターのハングアップや、Windows ファイルの破壊を招く恐れがあります。
また、手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

ここで説明している PC カードの取り外し手順は、一時的に取り外す場合です。

PC カードのドライバーの削除方法については、ご使用の PC カードに付属の取扱説明書をご覧ください。

(1) タスクバーの PC カードアイコン（通常デスクトップ右下）をダブルクリックします。

(2) 取り外したいデバイスを選択し、「停止」ボタンをクリックします。
（ご使用のデバイスによって、表示されるデバイス名は異なります。）

(3) 「OK」ボタンをクリックします。

(4) 「空」と表示されることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

(5) PCI-ADP の PC カード取り外しボタンを押してください。PC カードがスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。
この PC カード取り外しボタンを押さずに、無理矢理PC カードを抜くことは、絶対におやめください。

注意

手順を守らなかった場合、コンピューターのハングアップや、Windows ファイルの破壊を招く恐れがあります。
また、上記手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

4 アンインストール

4.1 PC カードドライバーのアンインストール

ご使用の PC カードに付属の取扱説明書に従って、PC カードドライバーのアンインストールを行います。

4.2 PC カードの取り外し

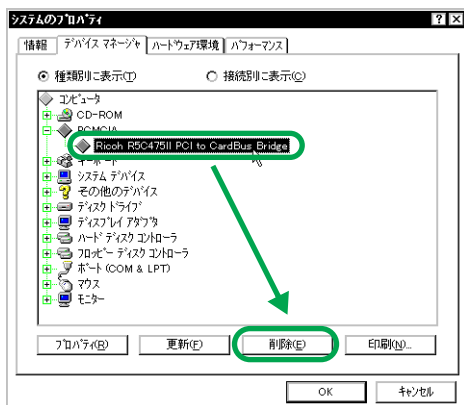
ご使用のＰＣカードを一時的に使用せず、取り外す場合は、「3.2 PC カードの取り外し」（p.19）の手順に従って、取り外します。

4.3 PCI-ADP ドライバーのアンインストール

■ Windows 95 の場合

（1）「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

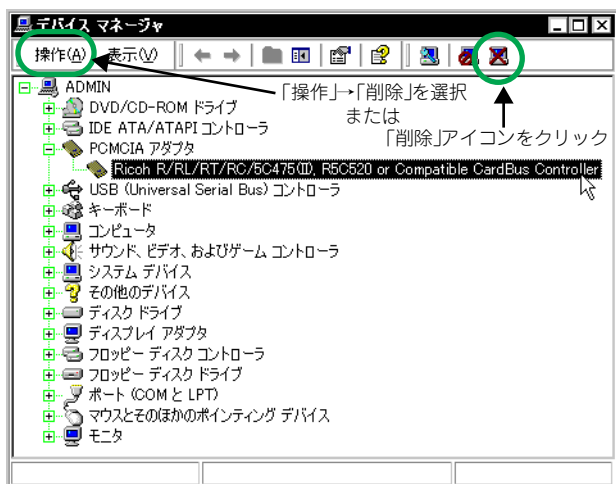
（2）「PCMCIA」をダブルクリックします。

（3）「Ricoh R5C475II PCI to CardBus Bridge」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

■ Windows 2000 の場合

(1) 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「システム」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェア」タブをクリックします。

(2) 「デバイスマネージャ」ボタンをクリックし、デバイスマネージャを起動します。

(3) 「PCMCIA アダプタ」をダブルクリックします。

(4) 「Ricoh R/RL/RT/RC/5C475(II), R5C520 or Conpatible CardBus Controller」を選択し、「削除」アイコンをクリックします。または「操作」メニューから「削除」コマンドを選択することでも、削除を行えます。

4.4 PCI-ADP の取り外し

「4.3 PCI-ADP ドライバーのアンインストール」（p.21）で、ドライバーを削除した後に、PCI-ADP を、コンピューターのＰCI バススロットから取り外します。

注意

本製品を取り外す場合は、ご使用のコンピューターの電源を、必ずお切りください。

再度、PCI-ADP のインストールを行う場合は、「1 Windows 95 へのインストール」（p.6）または「2 Windows 2000 へのインストール」（p.13）の手順に従って行います。

A おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
その他、この文書に記載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2000 年 11月　　Rev.A　初版